

審査項目(形式審査)	提案書 項目番号
1. 実証事業の概要	
1.1 実証事業の目的 ・公募要領に記載されている内容を踏まえて設定された実証事業の目的が記載されていること	1.1
1.2 実証事業の内容 ・実証事業の内容が記載されていること ・事業内容が以下の4項目のいずれかに該当する事業であること -県単位で実施する事業 -市町村単位で実施する事業 -企業健保と連携して実施する事業 -厚生労働省および総務省と連携して行う事業	1.2
1.3 健康情報活用基盤を活用した健康サービスの内容 ・健康情報活用基盤を構築し、当該基盤を用いた健康サービスモデルを実証することが提案・記載されていること ・健康情報活用基盤を活用した健康サービスの内容(健康増進、疾病予防、疾病管理、医療サービス、高齢者向けサービス、乳幼児向けサービス等)とその実現方法が提案・記載されていること ・サービスの提供目的が記載されていること ・サービスの特徴(内容や参加者の特徴など)が記載されていること	1.3
1.4 実証すべき事項 ・本事業により実証すべき事項が記載されていること ・実証の結果として期待される成果が記載されていること ・実証の成果について今後の健康情報活用基盤構築・活用への活かし方が記載されていること	1.4
(該当する場合のみ) 1.5 厚生労働省・総務省と連携する際のコンソーシアムの役割 ・厚生労働省・総務省と連携する旨が記載されていること ・コンソーシアムの役割が記載されていること	1.5
1.6 事業の継続性・発展性と展開可能性 ・実証する事業の継続性・発展性や、その他の事業への展開可能性について記載されていること	1.6
1.7 消費者・個人情報保護の考え方・保護の方法 ・実証事業における消費者・個人情報保護の考え方および保護するための方法が記載されていること ・利用者の利便性を考慮した方法であること	1.7
2. 実証事業の実施方法	
2.1 対象地域、参加予定者、参加予定者数、参加者を集める方法 ・実証事業の「対象地域」「参加予定者(団体・地域・年齢・性別など)」「参加予定者数」「参加者を集める方法」が記載されていること	2.1
2.2 健康情報活用基盤の全体構成 ・健康情報活用基盤の全体構成と構築方法(新規構築/既存改修等)が記載されていること	2.2
2.3 情報の内容、収集元、収集方法 ・使用する健康情報の内容(データ名など)・収集元(機関名など)・収集方法(情報取得媒体等を含む)が記載されていること	2.3
2.4 情報収集の関係者との協業確度 ・情報収集の関係者との協業確度が記載されていること(調整済み、調整中、今後調整予定など)	2.4
2.5 収集情報の運用方法 ・健康情報活用基盤の運用方法(運用主体、手順など)が記載されていること	2.5
2.6 健康情報活用基盤のデータ標準化の方法 ・健康情報活用基盤で情報を蓄積・提供する際のデータ形式や交換規約など標準化について、考え方および実現方法が記載されていること	2.6

審査項目(形式審査)	提案書 項目番号
2.7 情報の活用方法 <ul style="list-style-type: none"> 健康情報を健康サービス事業者や参加者へ提供する方法が記載されていること 健康サービス事業者による健康情報の活用方法が記載されていること 参加者や健康サービス事業者が健康情報活用基盤へアクセスする際の仕組み(アクセス方法、認証方法など)が記載されていること 	2.7
2.8 健康情報活用基盤のセキュリティ確保の方法 <ul style="list-style-type: none"> 実証事業におけるセキュリティの考え方や確保の方法が記載されていること セキュリティ確保の方法が利用者の利便性を考慮した方法であること 	2.8
2.9 ポータビリティを確保するための方法 <ul style="list-style-type: none"> 各実証事業間のデータのポータビリティを確保する方法が記載されていること 	2.9
2.10 健康サービス事業者の参入を容易にする工夫 <ul style="list-style-type: none"> 健康情報活用基盤の構築にあたり、汎用性の高い技術を活用するなど、他の健康サービス事業者を参入しやすくするために工夫が記載されていること 	2.10
3. 実証事業の推進体制	
3.1 コンソーシアムの体制・役割 <ul style="list-style-type: none"> コンソーシアム内の役割・体制が記載されていること 代表団体の財務諸表が記載されていること 公募要領に記載のあるとおり団体が資格を有しており、各種代表者が定義されていることが記載されていること 経済産業省又は他省庁等に係る類似性の高い事業を実施中又は予定している場合について、提案プロジェクトとの役割分担や仕分けが応募書類に明確に記載されていること <p>(注意)</p> <ul style="list-style-type: none"> 既に経済産業省又は他省庁等の平成20年度の補助事業等による採択を受けておらず、採択も決定していないこと(提案書への記載は不要) 同一の者が代表団体として2件以上申請していないこと(提案書への記載は不要) 	3.1
3.2 各WGとの連携 <ul style="list-style-type: none"> 総括事業代表者は運用・普及WGへ参加することが記載されていること 技術責任者は技術・標準WGへ参加することが記載されていること 技術・標準WGおよび運用・普及WGでの決定事項に従って実証事業を行うことが記載されていること 	3.2
3.3 実証事業のスケジュール <ul style="list-style-type: none"> 実証事業の開始から終了までのスケジュールが記載されていること 最長でも平成23年2月28日までに完了するスケジュールであること 	3.3
3.4 事業費 <ul style="list-style-type: none"> 事業終了までの事業費について、各年度および事業期間の合計で見積もりの積算・内訳が記載されていること 事業を業務(作業)単位に分類し、その工数見積りが記載されていること。 <p>(参考)</p> <p>1件あたり: 1億~3億円程度 (平成20年度: 0.2億~0.6億円程度、平成21年度: 0.4億~1.2億円程度、平成22年度: 0.4億~1.2億円程度)</p> <p>全事業合計: 7億円(平成20年度: 1.4億円程度、平成21年度: 2.9億円程度、平成22年度: 2.7億円程度)</p> <p>(全て税込み額)</p>	3.4

審査項目(内容審査)	要約版提案書における主な項目番号	提案書における主な項目番号
1. 実証事業の全体像の評価		
1.1 提案内容の具体性・実現可能性 ・実証事業の内容とその実現可能性 ・実行上の工夫	1 ① 3 ⑧	1.1、1.2、1.3 1.4、3.3、3.4
1.2 実証すべき事項と期待される成果 ・実証すべき事項と期待される成果の明確性・有効性	1 ②	1.4
1.3 事業の継続性・発展性と展開可能性 ・事業の継続性・発展性と展開可能性	1 ③	1.6
2. 事業の設計に係る評価		
2.1 健康情報活用基盤の構築・活用方法		
2.1.1 実証に必要なデータ(種類・量)の十分性	2 ④	2.3
2.1.2 データ取得や利用者確保の具体性・実現可能性	2 ④	2.1、2.3、2.4
2.1.3 利用者の利便性を確保する方法の具体性・実現可能性と工夫	2 ④	1.3、1.7 2.5、2.7、2.8
2.1.4 健康情報活用基盤の実現可能性、運用方法(運用主体・手続きなど)の具体性	2 ④	2.2、2.3、2.5 2.8、2.9
2.1.5 健康サービス事業者が参入しやすい仕組み	2 ④	2.1
2.1.6 標準化の方法の実現可能性およびその理由の合理性	2 ④	2.6
2.2 健康情報活用基盤を活用した健康サービスの内容		
2.2.1 提供するサービスの社会的意義・提供価値・効果	2 ⑤	1.3
2.2.2 サービス内容の独自性・新規性	2 ⑤	1.3、2.1、2.7
2.2.3 健康サービスの発展可能性	1 ③、2 ⑤	1.6、2.10
2.2.4 ビジネスモデルの具体性・実現可能性(収益見込みなど)	2 ⑤	1.3、1.6、2.7
2.2.5 消費者ニーズを喚起するための工夫	2 ⑤	1.3、1.6、2.7
2.3 健康情報活用基盤のセキュリティ確保の方法 ・セキュリティや個人情報保護の妥当性 ・個人認証の方法の妥当性		
2.4 ポータビリティを確保するための方法 ・他健康情報活用基盤実証事業との連携方法の具体性・可能性	2 ⑦	2.9
(該当する場合のみ) 2.5 厚生労働省・総務省と連携する際のコンソーシアムの役割 ・役割分担の具体性・妥当性	3 ⑨	1.5
3. 事業の実行体制に係る評価		
3.1 役割・体制・人材・組織 ・コンソーシアム内の役割・体制の明確性・妥当性 ・団体と担当者の適性(資格や経験など) ・責任者の専従度合い		
3.2 事務管理・処理能力・財務状況 ・事務管理能力の十分性 ・財務状況の健全性	3 ⑪	3.1